

令和6年「富山“Re-Design”ラボ」について

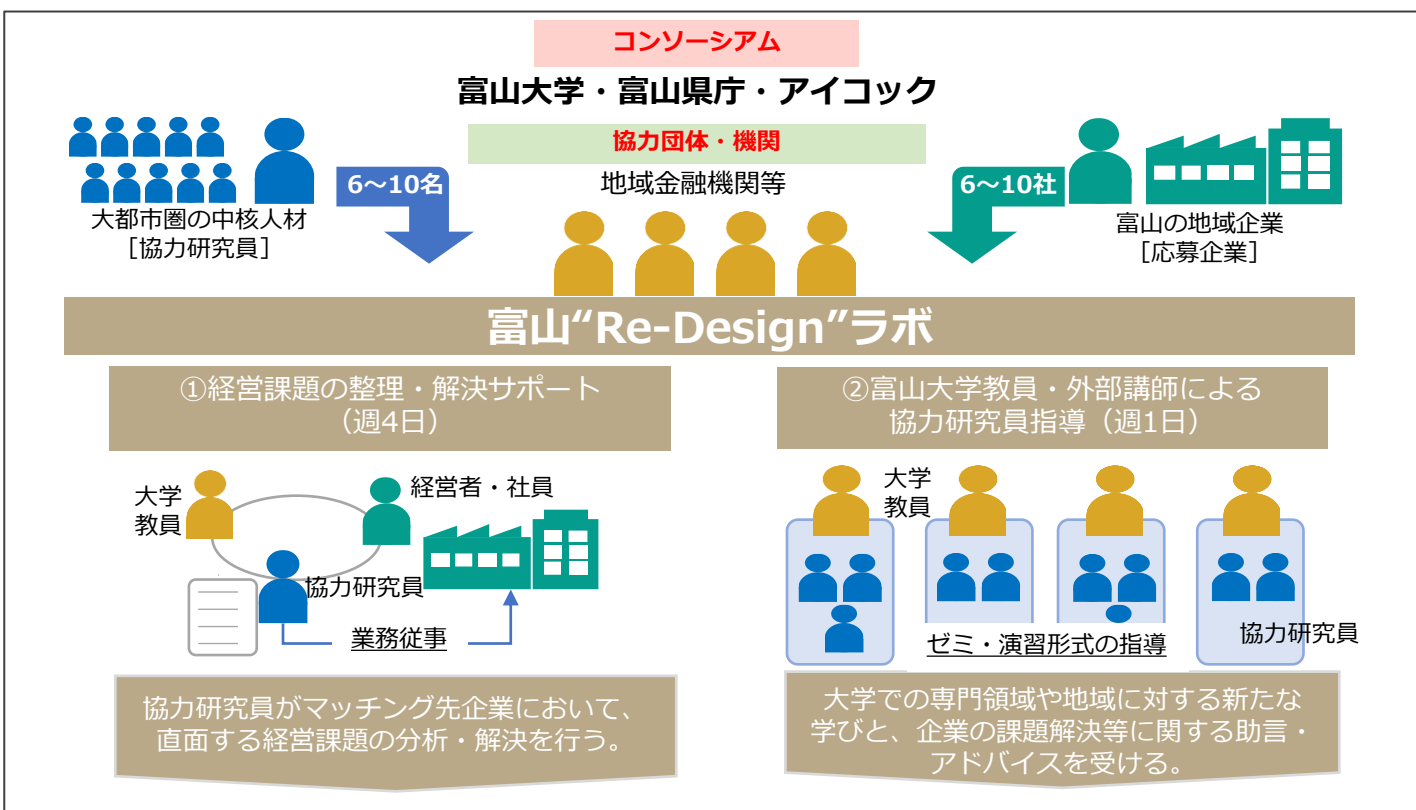
地域企業の持続的な価値創造と外部中核人材による地域活性化プログラム

変化の目まぐるしい現代、企業においては、過去にとらわれずに未来を見据え、課題を整理し経営やビジョン、それに対する解決策等をデザインし直す（＝“Re-Design”する）ことによる変革が求められています。

「富山“Re-Design”ラボ」プログラムは、産学官が連携し、**大都市圏の中核人材（6～10名）を富山大学の協力研究員として受け入れるとともに、未来に向け変革を進める企業とマッチングを行います。**

協力研究員は半年間、富山に住みながら、富山大学のリソースを活用した特色あるリカレント教育の受講とマッチング先企業での経営課題解決の実践を行い、自身のキャリアを自身・企業・地域それぞれのRe-Designに取り組みます。

※当プログラムは、富山大学・富山県・協同組合全国企業振興センター（アイコック）の3者がコンソーシアムを組み、事業を進めています。



プログラム期間は、2024年6月～11月とし、マッチングを希望する企業等のエントリー数は10社～15社を予定しています

プログラムの目的（課題解決への取組み）

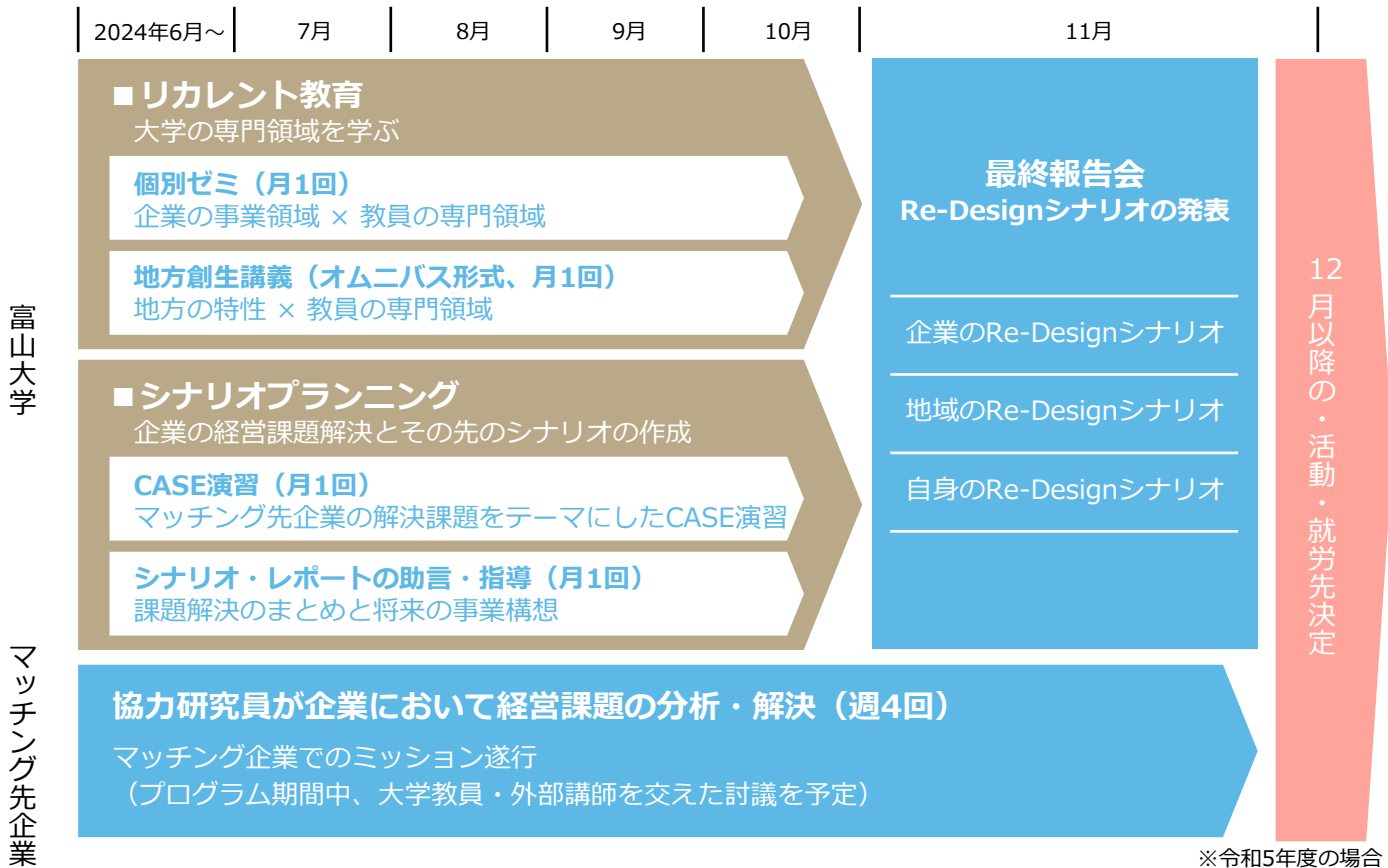
- マッチング先企業の個別課題・・・エントリー時に設定した個別の経営課題の解決に取り組む
- 地域中小企業の共通課題・・・当該企業の根源的な課題（＝地域中小企業の共通課題）を研究

プログラム参画メリット

1. 生産性の向上など足元の経営課題の解決と将来に向けた経営変革の方向性の構築につながります
2. 社内メンバーと協力研究員が共に課題に取り組むことで、社内メンバーの成長が期待できます
3. プログラム修了後、協力研究員との継続的な協働(雇用契約、業務委託契約等)につながる可能性があります
4. 大学との関係が深まることで、共同研究等に繋がる可能性があります

企業・協力研究員の参加イメージ

協力研究員は、週4日はマッチング先企業において経営課題の整理・解決を行いながら、週1日は富山大学のリカレントプログラム（「個別ゼミ」「地方創生講義」「CASE演習」「シナリオ・レポートの助言・指導」）で大学・教員等の知見を活用し、企業の課題解決をはじめ、自身・企業・地域それぞれの“Re-Design”シナリオを作成します。半年後に開催する最終報告会にて、取り組み成果を発表します。



プログラム参画期間・企業が負担する費用

期間	6か月(2024年6月～11月)
協力研究員への業務委託費	1ヶ月 30万円 (税込33万円) × 6ヶ月
プログラム運営費	1ヶ月 15万円 (税込16万5千円) × 6ヶ月
合計1ヶ月 45万円 (税込49万5千円) × 6ヶ月	

申込方法・開講までの流れ

- 1～2月 **【企業募集】**
別途「エントリーシート」「参加申込書」に必要な企業情報をご記入のうえ、コンソーシアム事務局に提出しエントリー。WEBサイトにて各企業のテーマ（解決を求める経営課題等）が公開されます。
- 3～4月 **【研究員募集】**
WEBサイトにて応募を受け付け、順次、面談によりマッチングを致します。
※研究員候補者が企業へ訪問し、現地で面談を行う場合、研究員候補者の交通費は企業にてご負担頂きます。
- 5月 マatching成立次第、企業は、当コンソーシアムと協定書を締結、協力研究員と業務委託契約を締結します。

参画いただく際の留意事項

- 協力研究員の業務に伴う移動費等は、各企業にてご負担頂きます。
- プログラム修了後に協力研究員を雇用、または業務委託を継続する場合は、別途人材紹介契約を締結いただきます。